

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	水銀使用廃製品適正回収事業				事業番号	010-044	
担当部署名	環境局	局	環境事業部	部	クリーンセンター管理課		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～		施策	(4)4Rに根差した循環型社会の形成		
			有	取組の方向性	①4Rの推進とごみの適正処理体制の確保					
		寄与するKPI	有・無	指標名	1人1日当たり家庭系ごみ排出量					
			有	現状値	643 g (2019年度)		目標値	628 g (2025年度)		
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール②つくる責任つかう責任		ターゲット	12.2,12.5		
			有	取組	ごみの減量化、リサイクルの推進					
		寄与するKPI	有・無	指標名	1人1日あたり家庭系ごみ排出量					
			有	現状値	617g(2022年度)		目標値	628g(2025年)		
2	関連計画			堺環境戦略、堺市一般廃棄物基本計画、堺市一般廃棄物処理実施計画						
3	事業開始年度			平成 29 年度		点検対象年度（堺市基本計画2030）		令和 12 年度		
4	実施根拠			水銀による環境の汚染の防止に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律						

事業の概要

5	事業の実施主体	クリーンセンター管理課		
6	事業の対象	市民	対象数	単位
			804,163	人
7	事業の目的	家庭から排出される水銀使用廃製品を適正に回収・処理（リサイクル）することにより、水銀による環境の汚染を防止し、市民の健康の保護及び生活環境の保全を図る。また、水銀使用廃製品のリサイクルを推進する。		
8	事業内容	家庭から排出される蛍光管、ボタン電池、水銀体温計等の水銀使用廃製品について、国のガイドラインに基づき、分別回収（拠点回収）・適正処理（水銀回収・リサイクル）を行う。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—		
9	主な支出先	収集運搬業者、処理（リサイクル）業者		
10	公民連携・協働事業	市内協力スーパー等での回収		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	水銀使用廃製品等回収量	kg	目標値	117,000	111,000	108,000	110,000
			実績値	110,083	105,790		
			達成率	94%	95%		
当該指標を選定した理由	水銀使用廃製品の回収は、水銀等の環境への排出を抑制し、市民の健康の保護及び生活環境の保全に寄与するため。						
目標値の設定根拠・算出方法	令和6、8年度：堺市一般廃棄物処理実施計画 令和7、12年度：堺市一般廃棄物処理基本計画						
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	回収拠点（回収ボックス設置拠点・回収協力店）設置数	箇所	目標値	82	81	81	
			実績値	82	81		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	市民の利便性を考慮しつつ、水銀使用廃製品の適正排出を促進するため。					
目標値の設定根拠・算出方法	人口1万人あたりにつき1拠点設置						

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	水銀使用廃製品適正回収事業	事業番号	010-044
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量											
事業コスト											
※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）											
13	財 源 内 訳	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
			決算		決算		当初予算		当初予算		
		事業費（a）	24,158		25,412		25,037		24,812	25,603	
		国支出金	0		0		0		0	0	
		府支出金	0		0		0		0	0	
		市債	0		0		0		0	0	
		その他（ ）	0		0		0		0	0	
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0		0	0	
		一般財源	24,158		25,412		25,037		24,812	25,603	
14	人件費（b）		15,920		15,660		15,840		15,840	16,320	
15	年間経費（c）=(a)+(b)		40,078		41,072		40,877		40,652	41,923	
事業費の内訳											
（単位：千円）											
16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		手数料	R7	決算	24,648	24,648		R7	決算		
			R8	予算	25,341	25,341		R8	予算		
		普通旅費	R7	決算	76	76		R7	決算		
			R8	予算	160	160		R8	予算		
		消耗品費	R7	決算	40	40		R7	決算		
			R8	予算	40	40		R8	予算		
		自動車借上料	R7	決算	38	38		R7	決算		
			R8	予算	38	38		R8	予算		
		通信運搬費	R7	決算	10	10		R7	決算		
			R8	予算	24	24		R8	予算		
		Ⅳ. 事業の効率性									
単位当たり経費											
17	①	水銀使用廃製品等回収量			kg	令和6年度		令和7年度			
	②	上記①にかかる年間経費			千円	38,464		37,968			
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）			円/単位	349		359			
	算出についての説明等		対象品目の収集・処理・処分に係る経費に限定して計上している。								
Ⅴ. 評価											
費用対効果に係る所見											
18	水銀使用廃製品として排出される乾電池・蛍光灯の減少に伴い、年間経費は減少している。 蛍光灯については、2027年末までに予定されている製造禁止が広く周知され始めていることもあり、今後はLEDへの切り替えに伴う一時的な排出量の増加も想定される。 上記の理由により、回収量の増減は予測が難しい状態が続くが、長期的には減少する傾向にあるため、今後も回収方法・回収品目の見直しを行いながら効率的な事業実施を図る。										
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）											
19	水銀使用廃製品を適切に処理することは、水銀による環境の汚染の防止に関する法律並びに廃棄物の処理及び清掃に関する法律により義務付けられており、水銀使用廃製品の分別回収により、環境の汚染を防止し、市民の健康の保護及び生活環境の保全に寄与することができた。 水銀使用廃製品の適正排出など、ごみの分別回収は市民のごみ減量化の意識向上につながると考えられるため、KPIの達成に寄与している。										
令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）											
20	必要性	■ 高い □ 低い	水銀使用廃製品の排出量は近年減少傾向にあるが、水銀による環境の汚染の防止に関する法律並びに廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、市民の健康の保護及び生活環境の保全に寄与するため、本事業は引き続き必要・有効であると考える。								
	有効性	■ 高い □ 低い									